

令和5年度（2023年度）一学期始業式

3月の修了式の日、皆さんに新しい学年の目標を作ってくださいとお願いしました。今からWBCで大活躍した大谷選手がどんな目標を作って努力したのかお話をします。

大谷選手が青森県の花巻東高校1年生のときです。8つのチームからドラフト1位で入団してくださいとお願いされるという目標を掲げました。なぜ、このような目標を立てたのでしょうか？

大谷選手が中学3年の時、高校野球で大活躍していた花巻東高校の菊池雄星投手に憧れていました。その菊池雄星投手が6つのチームから入団してくださいと指名されました。大谷選手は憧れの菊池投手を越えるという目標を立てました。

大谷選手は「ドラフト1位8球団」という大目標を9つのマスの真ん中に書きました。この大目標を実現するために必要なこと、条件を8つのマスに書きました。どんなことが書かれていたのでしょうか？

大谷選手は目標を達成するためには、丈夫な体、正確なコントロール、球の切れ、スピードボール、鋭く曲がる変化球、運の強さ、豊かな人間性、強い精神力が必要だと考えました。

「体づくり」から「変化球」までは野球の技術です。大谷選手の凄いところは、自分の目標を達成するためには、野球の技術以外に加えて、「learning to be」、「人として生きることを学ぶ」ことが大切だと気づいていたことです。

このような目標の作り方は、花巻東高校の佐々木監督から教わりました。大谷選手は目標を実現するために必要な条件を考える方法を学びました。「learning to know」、知ることを学んだのです。

次に条件4の時速160kmのスピードボールについて考えます。時速160kmのボールってどんなスピードなのでしょう？ 皆さんは50mを何秒ぐらいで走りますか？ 大谷選手が投げたボールは、なんと、1.125秒で50mを駆け抜けるのです。こんな速い球を投げるためには効果のある練習ができているのかチェックする必要があります。

大谷選手が考えたチェックポイントです。速い球を投げるための下半身強化、ボールは肩を大きく動かして投げますから、肩の周りを強くし動く範囲を大きくする必要があったと考えました。

大谷選手は、自分で考えたチェックポイントで厳しい練習を楽しみながら「為すこと」を学び続けたのです。「Learning to do」を繰り返す中で新しく取り組むべき課題も発見したのではないのでしょうか？

準々決勝のイタリア戦です。この試合に勝たなければ日本代表チームはベスト8で終わります。どちらのチームの選手も緊張していたと思います。0対0で3回の裏を迎えました。ワンアウト1塁です。日本のファンはヒットやホームランを打ってほしいと願いました。イタリアのファンはアウトになって欲しいと思いながら大谷選手を見ていました。なんと、大谷選手はバントをしたのです。日本のファンもイタリアの不安も、世界中の野球ファンが驚きました。このバントがきっかけで日本チームに4点も入りました。でも、大谷選手はなぜバントをしたのでしょうか？

このような緊張した試合では、先に点を入れた方が有利になります。また、大谷選手は自分が打たなくても、次の人が必ずヒットを打ってくれるという仲間を強く信じる気持ちをあつたからでしょう。

小さい時から野球をやっていた大谷選手には、「チームメイトと共に生きる」気持ちが知らず知らずのうちに育まれていたのでしょうかね。

アメリカのチームと決勝戦で戦う前、大谷選手がチームのみんなを元気づけるためにスピーチを行いました。今日一日だけは「憧れ」を捨てて 勝つことだけを考えよう。このスピーチを世界中の野球ファンが褒め称えました。それはなぜでしょうか？

準決勝のメキシコ戦のことです。この試合はもう少しで負けるところでした。メキシコには、日本の選手が憧れるメジャーリーグの選手が26人もいる強いチームでした。

メキシコには勝てましたが、日本選手はメジャーリーガーには想像以上の強さがあると、肌で感じました。アメリカのチームは全員がメジャーリーガーです。日本のプロ野球選手も、世界の野球選手も憧れるスター選手ばかりです。大谷翔平選手やダルビッシュ有のような選手が勢ぞろいしているのです。日本の選手は自分たちの力を信じていました。しかし、メキシコ戦の経験から不安な気持ちや弱気の虫が頭を持ち上げてきました。

大谷選手は、日本選手が自信を取り戻し、自分の力を信じるために、今日一日だけは「恐れ」を捨てて 勝つことだけを考えよう、とスピーチをしました。このスピーチにはアメリカの選手を尊敬する気持ちが含まれている史上最も礼儀正しい元気づけだと世界の野球ファンから称えられています。

また、世界の野球ファンは大谷選手が「Learning to be」人として生きることを学びながら、野球というスポーツを楽しんでいることに気づいてくれたのでしょね。

さあ、今日から新学年の一年が始まります。皆さんも大谷選手と同じように「成りたい自分」に向かって「未来地図」を描いて努力してください。そして、「成りたい自分」になるために、「4つの学び」と「振り返り」を大切にして取り組んでください、期待しています。